

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000								
項	01 商工費							所属課名	商工課								
目	02 商工業振興費							内線番号									
大	004 商工業振興資金貸付事業(商工課)	3,620,247	3,800,247	222,690	180,000	0	0	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額						
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき							
小	00		0	0	0	180,000	0		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ							
細	0		0	0	0	180,000	0		細節	商業の活性化							
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳									
事業全体概要 鳥取県及び金融機関と協調した制度融資を運用することにより、本市が調達した原資の数倍の額の融資を創出して下記目的を達成し、もって地域経済の活性化を図る。 ・民間金融機関の融資を補完し、経営基盤の弱い中小企業者の資金繰りを支援する。 ・新規開業や新技術・新商品の開発等の新しい動きを支援する。 ・企業の集団化、業種転換、設備の近代化など、市内産業構造の転換を誘導する。 ・災害、経済情勢の変化、取引先倒産など、突発的・広域的な局面に対応する。 事業効果 金融機関に対する資金預託によって融資利率を引き下げ、また、預託金は企業の返済に関わらず市に償還され、その償還金収入を財源としている。								区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
2. 根拠法令								21	貸付金	180,000	諸収	21	02	04	01	001	180,000
3. 用地の状況								商工業振興資金貸付金元利収入(商)									
4. 基本計画との関連																	
5. 本年度の計画効果								6. 財源の説明									
【補正理由】 原油価格をはじめとする原材料費の高騰が長期化・拡大し、中小企業者の事業環境が悪化しており、関連する制度融資の利用が増加している。今後も利用の増加が見込まれるため、融資の利用見込を勘案して補正要求するもの。 【平成20年度計画】 新規分預託見込額 890,537千円・・・(A) うち平成20年7月31日現在預託実績額 349,846千円 うち平成20年8月1日以降預託見込額 540,691千円 継続分預託実績額 2952,400千円・・・(B) 平成20年度預託見込総額(A+B) 3,842,937千円								財源内訳の積算根拠 財源は、商工業振興資金貸付金元利収入。 ・8月1日以降支出見込額 540,691千円・・・(A) ・7月31日現在予算残額 318,001千円・・・(B) (B) - (A) = 222,690千円									
目的別 性質別																	